



あの記事は今 No.6

# 玉村町の玄関口としての道の駅玉村宿 ～交流の場の提供として～

玉村町 経済産業課

## ■ 道の駅玉村宿とは

道の駅玉村宿は、東毛広域幹線道路(国道354号)沿いの、関越自動車道高崎玉村スマートIC東隣に平成27年5月31日にオープンしました。敷地面積は15,204㎡、建物は道の駅棟と外トイレ棟の2つに分かれ、午前9時30分～午後7時まで営業しています。今年の5月で丸3年を迎え、その間平成29年9月には来場者数100万人を突破することができました。

## ■ 玄関口として機能拡充と交流人口の増加への工夫

2年目にあたる平成29年1月からはお正月営業を開始しました。続いてEV急速電器の拡充、全国ネットのお昼番組「ヒルナンデス」での紹介、「賢い料金※」の社会実験の開始、高速道路での本駅の案内看板設置などがあり、来客数の増加や利便性の向上に繋がっています。

また、友好交流都市である昭和村の朝採れレタス販売、ゴールデンウィークイベントの開催、玉村町のゆるキャラである「たまたん誕生日会」などのイベントは継続して実施し、町内外の交流人口の増加に貢献しました。商品についてもお客様の求めているものや地域振興につながるものを積極的に取り入れ、来場者がリピーターとなるよう飽きさせない工夫も施しました。

さらに旅行会社との協力のもと、本駅を基点として町内の観光施設を巡るツアーが開催され、その後のアンケート結果から好評であったとの結果を得ることができました。

※「賢い料金」とは、ETC2.0搭載車が、高崎玉村スマートICから一時退出し、本駅に立ち寄り、1時間以内に戻れば、高速料金が据え置きとなる措置のこと。

## ■ 指定管理者制度の導入

本駅は、平成30年4月1日より指定管理者制度を導入しました。現在、町内企業であるタマムラデリカ株式会社が管理運営を行っております。指定管理者がもつ運営のノウハウや自由な発想を取り入れることで、賑わいのある運営を今まで以上に目指していきます。

## ■ さいごに

冒頭の説明どおり本駅は、好立地な場所にあり玉村町の「玄関口」に位置しています。まずは本駅に立ち寄ってもらい、そこから街中へ誘導していき、また町の情報発信基地として「たまむら」を宣伝していくといった、これら玄関口としての役割を指定管理者とともに工夫を凝らしながら、未永く利用してもらえよう今後も取り組んでいきたいと思ひます。



道の駅玉村宿の外観



高速道路にある道の駅玉村宿の案内看板



新鮮朝採れ野菜やおみやげ品が並ぶ直売所



賑わうたまたん誕生日会

